



湧く想い、沸かせる未来。

SHIZGAS

静岡ガスグループ

株主の皆さまへ

第178期 中間報告書

2025年1月1日 ▶▶▶ 6月30日

証券コード：9543

新ブランドスローガンに込めた想いのもと 持続的成長と地域社会への貢献に挑戦し続けます

外部環境は比較的安定感を保っていたものの、
対前年同期減収減益の決算

◇◇ 2025年上期の経営環境について
教えてください。

2025年上期のエネルギー業界を取り巻く外部環境は、比較的安定していました。原油価格は上期を通じて全体的に下落傾向にあり、為替も円安基調から若干の円高に転じたとはいえ大きな変動は見られず、事業上のリスクとしては比較的軽微だったと捉えています。一方、国際政治の動向、とりわけ米国トランプ政権の政策は製造業を中心とする事業者に大きな影響を及ぼす可能性があり、当社グループの事業環境を検討する上でも極めて重要な視点です。今後の動向については、慎重に見極めていきます。

◇◇ 2025年上期の業績について教えてください。

都市ガス事業では、家庭用と業務用は気温が平年より低めに推移したことなどにより販売量が前年同期を上回りました。工業用も前年に開拓したお客さまの通年稼働などにより販売量が前年同期を上回りましたが、卸売が減少したことから、全体では前年同期を下回りました。

電力事業では、使用中戸数が5月に10万件を突破するなど着実に増えており、販売量が前年同期を上回りました。都市ガスもしくはLPガスをご契約のお客さま約40万件の内、その4分の1にあたるお客さまが電力もご契約いただいていることは、当社グループがお客さまと信頼関係を築いてきた結果であると自負しています。

上期決算につきましては、都市ガス販売量の減少に加え、原料費調整制度によるガス販売単価の下方調整等により、売上高が減少しました。経常利益は、電力需給調整市場での収益減や為替差損等により減少し、結果として前年同期と比べ減収減益となりました。

◇◇ 第7次エネルギー基本計画が閣議決定されましたが、
影響について教えてください。

本年2月に閣議決定された第7次エネルギー基本計画において、天然ガスは、電力供給源としての原子力や再生可能エネルギーと並び、カーボンニュートラルに向かうトランジション（移行）期のみならず、カーボンニュートラル実現後においても重要な役割を果たすべきエネルギーとして、明確に位置付けられました。これにより、お客さまの中でも天然ガスを現実的な熱エネルギーの選択肢として再評価する動きが加速していると感じています。当社グループにおいてもこのような動きが追い風となり、天然ガス需要拡大への新たな期待が高まっています。

今後、エネルギー業界においては、カーボンニュートラルの実現やグリーン・トランスフォーメーション（GX）の推進について、これまで以上に重要な課題として取り組まなければなりません。当社グループはエネファームやガスコージェネレーションなどエネルギー高度利用による天然ガスのさらなる普及と再生可能エネルギー開発の推進を両輪として、地域における低炭素化をリードするとともにカーボンニュートラル実現に向けた取り組みを進めていきます。

海外での天然ガス・再エネ事業が拡大、
地域企業との業務・資本提携も積極的に推進

◇◇ 海外事業の状況と地域企業との
連携について教えてください。

上期における最も大きな動きは、米国におけるシェールガス権益の取得です。本年、米国に設立した現地子会社SHIZUOKA GAS AMERICA CO.が、東京ガスグループ会社のTG Eagle Ford Resources LPより、米国のシェールガス開発事業の権益を取得し、天然ガスの上流開発事業に参入しました。これにより当社グループは、ガスバリューチェーンの安定化、ナチュラルヘッジを通じた供給の信頼性向上を目指します。

アジアでは、引き続きインドネシアとタイでの都市ガス配給事業や再生可能エネルギー事業等を拡大するほか、ベトナムでは太陽光発電案件への参画を進めています。インドでもバイオガス事業への参画に続き、現地法人SHIZUOKA GAS INDIA PRIVATE LIMITEDを設立し、天然ガスや再生可能エネルギー事業の展開を目指しています。

国内では、地元企業やスタートアップ企業との業務・資本提携を進めてきました。7月には、ハウジング事業の強化に向けて静岡県西部地区を中心に事業展開するグッドリビング株式会社の全株式を取得し、新築住宅・リフォーム・リノベーションから不動産取引までを一貫してカバーする体制を構築しました。また、陸上養殖システム的设计や開発を手がけるスタートアップ企業の株式会社ARKに出資してクエタマ[®]の陸上養殖事業にも参入しました。今後も他事業者との連携により、地域の暮らしを支える新たな価値を創出していきます。

※ハタ科を代表する高級魚クエと、ハタ科最大級のタマカイのハイブリッド魚種

持続可能な企業成長と株主価値の最大化を目指す

◆◆ 新ブランドスローガンに込めた 想いを聞かせてください。

このたび制定した新ブランドスローガン「湧く想い、沸かせる未来。」には、企業として新たな事業領域・成長分野に前向きに挑戦する意志と情熱を込めました。「湧く想い」は社員全員が“わくわく”しながら0から1を生み出すこと、「沸かせる未来」はその想いを1から100にして快適で豊かな社会を築く原動力となることを意味しています。新スローガンは、社員の成長意欲を引き出すと同時に、お客さまやステークホルダーの皆さまに当社グループのさらなる進化に対する決意を示すものです。

◆◆ 統合報告書を作成された 目的について教えてください。

本年6月、財務情報だけでなく、環境・社会・ガバナンス（ESG）に関する取り組みも含めて、企業価値を総合的に伝える必要がある

代表取締役
社長執行役員（COO） 松本 尚武

と考え、統合報告書を作成しました。当社グループの中長期的な価値創造ストーリーを分かりやすくお伝えできる内容に仕上がりました。統合報告書を通じて、当社グループの存在意義を再確認するとともに、事業領域を拡大していく中で、目指すべき姿を示していきます。

◆◆ 最後に、株主の皆さまへの メッセージをお願いします。

当社グループが目指すのは、持続可能な企業成長と株主価値の最大化です。そのために、ROE向上に資する成長投資を継続的に行い、同時に適切な財務レバレッジを活用することで、財務基盤を保ちながら効率的な経営を実現してまいります。また、IR・SR活動を充実させ、当社グループの成長ストーリーを株主や投資家の皆さまに丁寧に説明し、さらなるご理解と信頼を得られるよう努めてまいります。

これからも株主の皆さまには引き続きご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。





新たなブランドスローガンおよび ブランドメッセージの策定について

取締役 常務執行役員
コーポレートサービス本部長

すぎやま たけやす
杉山 武靖

2025年6月11日に、新たに当社グループの
ブランドスローガンおよびブランドメッセージを策定しました。

ブランドスローガン

湧く 想い、沸かせる 未来。

湧く想い、沸かせる未来。

SHIZCAS

静岡ガスグループ

ブランドメッセージ

静岡ガスグループは、「わくわく」を創り続けます。
ふつふつと湧き出るあなたの想いは
私たちの新たな挑戦の原動力となります。
もっと快適に。もっとクリーンに。もっと豊かに。
ひとつひとつの想いをカタチにして、
みんなで未来を沸かせたい。

当社グループは、企業理念およびグループ2030年ビジョンの実現に向けて、お客さまや地域の皆さまが想起する「静岡ガスグループらしさ」と、当社グループが考える「ありたい姿」を共通化する目的で、企業ブランドの構築を進めてきました。今後、ガス事業を軸とした基盤事業では一層の効率化と成長を進めるとともに、成長事業においては海外事業や再生可能エネルギーなどの新たな領域への挑戦を加速させていくために、鍵となるのが人材育成です。

新しいスローガンでは、「わくわく」を「湧く」と「沸く」で表現しています。“すべてのステークホルダーと社員を含む当社グループがつながり、湧き出る想いを形にして未来を沸かせていきたい”そんな願いを込めています。スローガンに込めた「わくわく」の精神を社員一人ひとりが体現することで、皆さまとのつながりや共感を深め、グループ社員の活力と挑戦心を高めていきます。またこうした取り組みにより、自ら考え行動するボトムアップ型の組織を醸成し、事業領域の拡大と成長を推進していきます。

● 今期の主な出来事 ●

2025

2月

- シェールガス開発事業の権益取得に関する基本合意の締結



4月

- 愛知県田原市におけるバイオマス発電所の営業運転開始
- 「しずもALIFE」の提供開始
- スマートホーム体験モデルルーム「QUOLAB静岡」の開設
- 朝霧バイオガス発電事業への出資参画決定
- 島田市役所へのカーボン・オフセット都市ガスの供給開始
- 「SHIZGASでんき」10万件突破

5月

- 料金プラン「おうち電化プラン」の新設
- 定額制リフォーム「Re-LIFE LDK」の提供開始
- シェールガス開発事業の権益取得完了

6月

- 当社グループの新ブランドスローガンおよびブランドメッセージの策定
- 「静岡ガスグループ統合報告書2025」の公開

7月

- 「SHIZUOKA ミライボディプロジェクト」の提供開始



- 陸上養殖事業への参入
- グッドリビング株式会社の株式取得

シェールガス開発事業の権益取得完了について

2025年2月21日にTG Eagle Ford Resources LPと基本合意を締結した米国のシェールガス開発事業について、2025年5月30日に正式に権益取得が完了しました。今後は新たに設立した現地子会社SHIZUOKA GAS AMERICA CO.により、本事業の運営・管理を担っていきます。



https://www.shizuokagas.co.jp/news/documents/20250530_1.pdf

「SHIZUOKAミライボディプロジェクト」の提供開始

株式会社VELTEXスポーツエンタープライズおよび株式会社LIFEATと連携し、スポーツに取り組む子どもを対象としたスポーツ栄養サービス「SHIZUOKA ミライボディプロジェクト」を、2025年7月1日から静岡地区にて提供開始しました。身体測定や栄養講座、調理体験などを通じて、子どもたちが自らの身体や食事に関心を持てるよう支援する体験型の学習プログラムを提供していきます。



<https://www.smbp.jp/>

陸上養殖事業への参入について

2024年11月からトライアルを行い、事業化に向けた検討を進めてきた陸上養殖事業について、本格参入することを決定しました。2025年6月20日に静岡市が保有する遊休地（静岡県静岡市清水区）の使用に関する基本協定を静岡市と締結しました。7月から本用地において閉鎖循環式陸上養殖設備工事を着工し、10月に稚魚入れを行う予定です。



<https://www.shizuokagas.co.jp/news/documents/20250701.pdf>

グッドリビング株式会社の株式取得について

2025年7月18日、グッドリビング株式会社（以下、グッドリビング社）の全株式を取得しました。グッドリビング社が持つ事業基盤を活用することで、お客さまの住まいに関する幅広いニーズにお応えするとともに、静岡県西部地区への販売体制の強化およびハウジング事業のさらなる成長を目指します。



https://www.shizuokagas.co.jp/news/documents/20250718_01.pdf



地域の安全・安心を支える土台として 信頼されるインフラの維持・発展に取り組んでいます

常務執行役員
導管ネットワーク本部長 内田 充

◆ 設備の老朽化や自然災害に備えて ◆ 計画的にインフラ整備や訓練を実施

導管ネットワーク本部は、ガス導管の敷設や維持管理、緊急時の保安対応などを通じて、地域におけるガスの安定供給を支えています。また本年から組織体制を見直し、天然ガスの普及拡大に向けて導管事業者としても自ら需要開発に取り組み始めています。

設備面では、老朽化対策や自然災害への予防保全として、高圧から低圧までを含むガス導管の更新を計画的に進めており、耐震化率はほぼ100%に達する見込みです。あわせて地震対応訓練や人材育成も実施し、災害時に迅速に対応できる体制を整えています。また、NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）事業の一環として電力、上下水道、通信事業者と協働で設備管理のDX化の実証も進めています。

当社グループは、グループ2030年ビジョン実現のための3つの視点として、「安全・安心」「カーボンニュートラル化実現」「QOLの向上」を掲げていますが、導管ネットワーク本部は都市ガス事業の基盤を支える役目を担う立場として、「安全・安心」を最優先に取り組んでいます。

ガス導管のネットワークは通常は目立たないインフラですが、その存在価値を高めるべく、未来を見据えたネットワークづくりに挑戦しています。

◆ 次世代エネルギー技術も取り入れつつ ◆ さらに安全・安心の向上に取り組む

本部長として大切にしている点は、「お客さま目線」を常に意識することです。導管ネットワーク本部の業務はお客さまとの直接的な接点が少ない分、技術や業務が自己完結しがちです。だからこそ、事業遂行における判断の拠り所を「お客さまのため」に置き続ける姿勢が不可欠だと考えています。

人材育成では、スキルに見える化や個別最適な研修の実施、当社グループのガス工事を行う協力工事会社とのOJTなどを通じて、現場力の底上げと技術継承を図っています。また、地域の方々を現場に招き、耐震化工事の様子を見ていただくなど、お客さまの理解と信頼の醸成にも取り組んでいます。

次世代エネルギー社会に向け、水素導管の建設やスマート保安の推進など、新たな挑戦も始まっています。今後も安全・安心を基盤とした、持続可能な社会づくりに貢献していきます。



未来を見据えた経営戦略で グループの成長を牽引していきます

執行役員
経営戦略本部長 兼 経営企画部長 勝呂 恭正

◆ グループ経営の「羅針盤」として ◆ 企業価値の向上に取り組む

経営戦略本部は、経営企画部とデジタルイノベーション部の二部で構成され、経営戦略や財務戦略、DXの推進等を担う、いわば当社グループにおける羅針盤の役割を果たしており、グループ2030年ビジョンの実現に向け、最適な経営資源の配分や成長投資への戦略的な資本活用を進めています。

特に、資本コストや株価を意識した経営への取り組みを強化しており、経営戦略本部が主管する投資委員会にて投資案件の事業性やリスクを検証しつつ成長投資を促進するとともに、財務レバレッジを通じたROEの向上や、IR活動を通じたPERの改善に努めています。

また、DX分野では、組織のあらゆる階層でDXが推進される状態を目指し、階層別教育によるDX人材の育成に注力しています。加えて、新規事業創出も経営戦略本部のミッションとなっており、新たな事業領域として、スタートアップ企業との協業を通じ、クエタマの陸上養殖など非ガス分野での新たな価値創出に挑戦しています。

◆ 組織の力を信じ、一人ひとりが ◆ チャレンジを楽しむ組織文化を築く

経営戦略本部長に就任して以降、グループ2030年ビジョンの実現に全力を注ぐとともに、その先を見据えた長期的な視点で経営戦略を考えることを意識しています。未知の領域に挑戦することは容易ではありませんが、だからこそ「チャレンジを楽しむ組織文化」を育てたいと考えています。

事業環境の変化が加速する中で、何より大切なのは「組織の力」です。一人のリーダーによるトップダウンでは限界があり、社員一人ひとりが力を発揮できるボトムアップ型の組織をつくるのが、変化の時代を乗り越える原動力になると考えます。私は心理的安全性の高い職場をつくることで、自由闊達な意見交換ができる環境を整え、社員が主体的に挑戦できる組織運営を目指していきます。

ガス販売量

(単位:百万m³(45MJ))



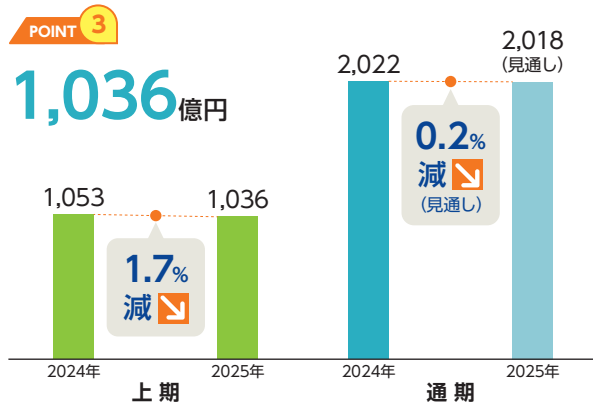
電力販売量 (卸売を除く)

(単位:百万kWh)



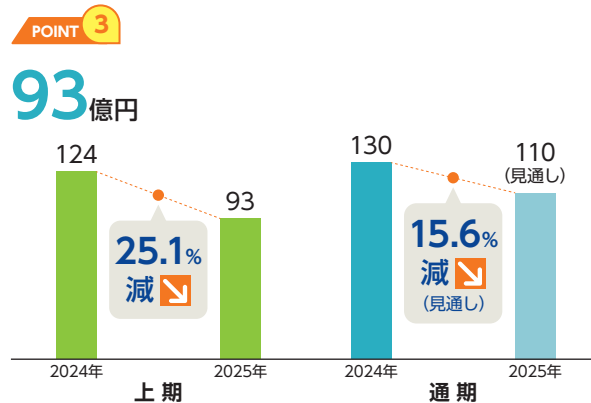
売上高

(単位:億円)



経常利益

(単位:億円)



※2025年通期見通しは、為替レート150円/ドル (下期)、原油価格 (全日本CIF) 80ドル/bbl (下期) の想定です。



詳しい情報は静岡ガスのIRページへ
<https://ir.shizuokagas.co.jp/ja/ir/Top.html>

静岡ガス IR

検索

スマートフォンでもご覧いただけます➡



POINT

- 1 ガス販売量は卸売の販売量減少などにより、前年同期を下回りました。
- 2 電力販売量は家庭用の使用中戸数増加などにより、前年同期を上回りました。
- 3 売上高は、ガス販売量の減少やガス販売単価の下方調整等により減少し、経常利益は、電力需給調整市場での収益減や為替差損等により減少したことで、減収減益となりました。

配当金の推移

2025年度中間配当金 1株につき 20.5円

2025年度予想年間配当金 1株につき 42円
(中間20.5円+期末21.5円)

配当方針

業績、株主資本配当率(DOE)等を勘案し、安定的かつ継続的に株主さまへの還元を充実していきます。
なお、配当性向に関しては、3割を目標水準といたします。

【ご参考】原料費調整制度とスライドタイムラグ

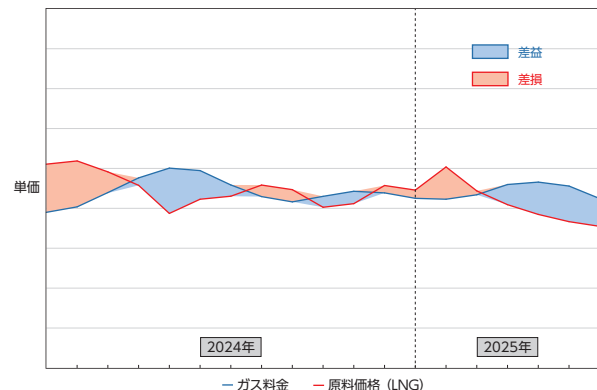
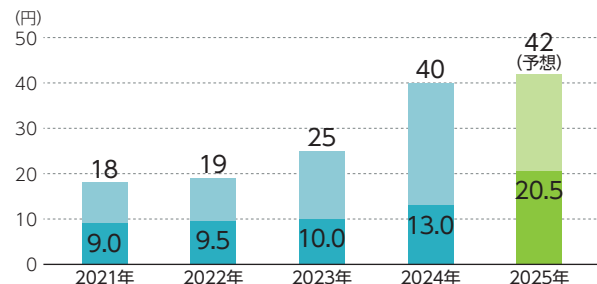
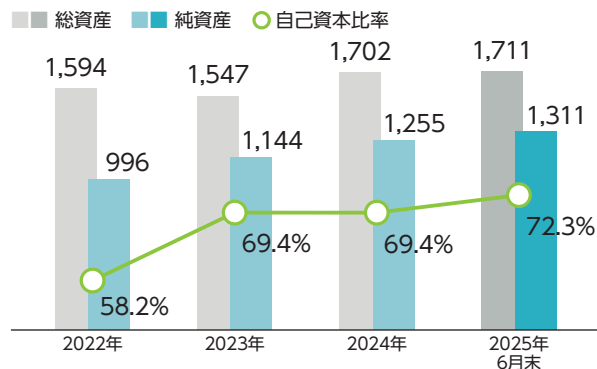
都市ガスの主原料であるLNG（液化天然ガス）などの原料価格は、為替レートや原油価格などの影響によって変動します（右記グラフの赤線）。原料費調整制度は、この為替レートや原油価格などの影響で変動する原料価格を適切にガス料金（右記グラフの青線）に反映させる制度です。原料価格は、3ヶ月後のガス料金に反映されるため、一定期間（会計年度）においては期間損益の変動要因（スライドタイムラグ）となります。

当期は、昨年末から足下にかけての原油価格の下落に伴い原料価格も下落したことで、期間損益にプラスの影響（差益）を与えました。

図：スライドタイムラグイメージ

総資産・純資産

(単位:億円)



社外取締役インタビュー

■ 社外取締役

ひらかわ りえ
平川 理恵



略歴

1991年4月
㈱リクルート入社
1999年8月
有トラベシア代表取締役社長
2010年4月
横浜市立市ヶ尾中学校 校長
2015年4月
横浜市立中川西中学校 校長
2018年4月
広島県教育委員会 教育長
2024年6月
東京インターナショナルスクール 理事(現任)
2024年8月
㈱アカデミア・ネクサス代表取締役(現任)
2024年10月 学校法人金蘭会学園
理事 兼 経営改革本部長
2025年3月
当社社外取締役(現任)
2025年4月 学校法人金蘭会学園
副理事長 兼 業務理事(現任)

さまざまな価値観を持った人材が活躍できる環境づくりを目指します

地域に根ざした堅実な事業運営と新領域へ挑戦する姿勢に感じる強さ

新たに静岡ガスの社外取締役に就任して感じたことは、非常に風通しが良く、誠実で堅実な企業文化が根付いているということです。取締役会においても、社内外のさまざまな視点を尊重しながら活発な意見交換が行われ、形式的なものではなく、真に実効性のあるガバナンスが機能していると思いました。

また社員の方々と直接対話してみると、皆さま非常に誠実で、地域のくらしを支えているという誇りを持って業務に臨まれていることを強く感じました。とりわけ印象的だったのは、変化を恐れず新しい領域に挑戦していこうとする姿勢です。エネルギーの安定供給という社会インフラとしての責任を果たしつつ、カーボンニュートラルや再エネ活用、さらにはくらし全体を支えるサービスを展開するなど、次の時代を見据えた取り組みが随所に見られます。地域に根差した企業だからこそできる丁寧な事業運営と、外部環境の変化を受け止めて柔軟に進化していく力を両立させていることに、静岡ガスの強さと将来性を感じています。

多様な価値観を持った人材育成やダイバーシティ推進に貢献していく

私自身は社外取締役として、これまでの教育行政や学校運営の経験を活かし、人材育成や組織のダイバーシティ推進に貢献していきたいと考えています。特に若手・女性の活躍推進に関しては、積極的に意見を述べていくつもりです。

企業が持続的に成長するには、さまざまな人材が活躍することが重要ですが、それには性別や年齢を超えて、多様な価値観を認めていく環境づくりが不可欠です。社員のモチベーション形成や現場の声を吸い上げる仕組みづくりなどについて、社外取締役の立場から積極的に提言していきたいと考えています。

静岡ガスが外からの視点を柔軟に取り入れながら、さらに価値観の多様性を尊重する企業となるために、社外取締役の“外の声”としての役割を果たすとともに、社員の方々との対話を含めた現場との接点も大切にしながら、取り組んでいきたいと思っています。

「静岡ガスグループ統合報告書2025」公開について

当社グループは2025年6月30日に、当社グループ初となる「静岡ガスグループ統合報告書2025（以下、本報告書）」を公開しました。グループ2030年ビジョンの実現に向けては、地域や社会の皆さまからの共感と信頼が不可欠であり、当社グループの目指す方向性や価値観、事業活動の全体像をステークホルダーの皆さまにお伝えすることが大切であると考えています。本報告書を、財務情報と非財務情報の関連性を示しつつ、ステークホルダーの皆さまとの対話のきっかけとなる「エンゲージメントツール」として活用していきます。



統合報告書掲載ページ

<https://ir.shizuokagas.co.jp/ja/ir/Library/IntegratedReport.html>



清水エル・エヌ・ジー袖師基地見学会のご案内

株主の皆さまの日頃からのご支援への感謝と、当社事業に対するご理解をより深めていただくことを目的に「株主さま向け施設見学会」を開催いたします。



対象	集合場所
2025年6月末時点で100株以上を保有する株主さま	JR静岡駅または清水駅（詳細は当選者さまにご案内いたします）
見学場所	応募方法
清水エル・エヌ・ジー株式会社 袖師基地 静岡県静岡市清水区袖師町1900番地	上記QRコードを読みとり必要事項をご入力の上、ご応募ください。 ※2025年9月末日入力分まで
実施日時	抽選
①2025年12月 2日（火） 14：00～16：00 ②2025年12月 4日（木） 14：00～16：00 ③2025年12月16日（火） 14：00～16：00 ④2025年12月18日（木） 14：00～16：00	応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。当選者さまへのご連絡のみとさせていただきます。（10月中旬に郵送にてご連絡予定）
募集人数	その他
各20名程度（ご同伴者さまを含む） ※ご同伴者1名（小学生以上）を含めた2名までご参加が可能です。 ご応募の際にご同伴者さまの有無をご選択ください。	※ 参加費は無料となりますが、ご自宅から集合場所までの往復交通費、宿泊費等は、株主さまのご負担とさせていただきます。 ※ 駐車場はご用意しておりません。 ※ 複数日時に応募いただいた場合、見学会にご参加いただけるのは、実施日時のうちいずれか1日のみとなります。 ※ 当選した権利を他人に譲渡することや、金銭と交換等することはできません。 ※ 天候、見学施設の事情等により、やむを得ず見学会を延期・中止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、見学会を延期・中止する場合には、郵送または電話にてご連絡させていただきます。見学会の延期・中止または変更により株主さまに生じる費用等については、株主さまのご負担となります。

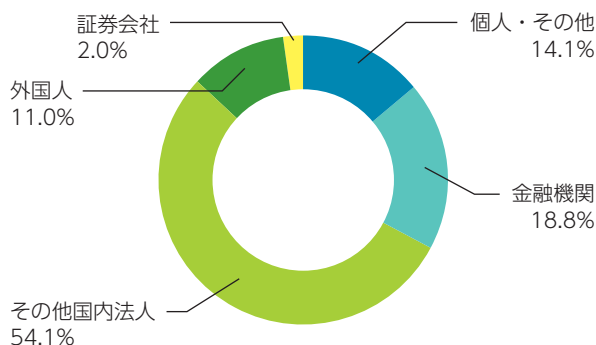
■ 会社概要

会社名	静岡ガス株式会社
設立	1910年（明治43年）4月16日
資本金	6,279百万円
事業内容	都市ガスの製造・供給および販売 LPGの販売 発電および電力の販売 リフォーム、ガス機器販売、ガス工事 等

■ 株式の状況

発行可能株式総数	240,000,000株
発行済株式の総数	76,192,950株
株主数	8,991名

■ 所有者別株式分布状況



※自己株式(865千株)を控除して計算しております。

■ 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月
基準日	定時株主総会・期末配当 12月31日 中間配当 6月30日
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 〒100-8241 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
郵便物送付先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	0120-288-324（フリーダイヤル）
公告の方法	電子公告により公告します。 (https://www.shizuokagas.co.jp) *ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
1単元の株式数	100株
証券コード	9543

住所変更、単元未満株式の買取・買増等について

株主さまの住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店・全国各支店にてお支払いいたします。
なお、配当金は、支払開始の日から満3年を経過しますと、当社定款の定めによりお支払いできなくなりますので、お早めにお受取りください。

その他のお問い合わせ

静岡ガス株式会社 コーポレートサービス本部 総務部 総務担当
☎054-284-4141

アンケートのお願い

QRコードまたはURLから、ご意見・ご感想をお聞かせください。
アンケートURL
https://krs.bz/shizgas/m/shareholder-survey_202508



※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。